

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例 I

<p>第1問</p>	<p>特性は、①取得した特許を活用した自社ブランド製品を展開し高付加価値化を図ることが差別化要因となる事、②シニア層をターゲットにした市場はニッチ市場であり競合他社が少なく国内市場シェア 60%以上を占有できる事。</p>
<p>第2問</p>	<p>理由は、①楽器メーカーの要求に応える OEM 的要素が強いのので自社ブランドを展開してきた A 社事業に対する考え方と異なっている為、②新しい成型技術を活かした特許を取得したものの技術が高度化しているので専門会社を設立し技術難度の高さに対応する為。</p>
<p>第3問</p>	<p>課題は、①安定した売上構造であるので新たな取り組み意欲が低下し組織文化の硬直化を防ぐ事、②健康ソリューション事業の強化を図り売上げを拡大し売上構成比のバランスを安定化させ経営リスクの分散を図る事。</p>
<p>第4問</p>	<p>理由は、①短期的視点に陥る可能性があるので成型技術の高度化や工場の投資意欲が低下し組織文化が硬直化してしまう事、②従業員の大半の正社員および経営危機を共に乗り越えた社歴の長い方のモラルが低下する事。</p>
<p>第5問</p>	<p>留意点は、①健康ソリューションサービスの提案制度や優秀な提案への表彰制度を導入しモラルを高め組織活性化を図る事、②地元自治体や大学と連携し定期的な勉強を実施する等の計画的な能力開発を行う事。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅱ

<p>第1問(設問1)</p>	<p>ターゲットは、①低価格志向の周辺住民で特に 40~50 代の中 高年層から、②富裕層（高価格志向）で高層マンションに転居 してきている 30~40 代と、これまでの落ち着いた空間を求め る大人、である。</p>
<p>第1問(設問2)</p>	<p>大人が落ち着ける空間を提供するリラクゼーション関連の業種</p>
<p>第1問(設問3)</p>	<p>戦略は、誘致したテナントとの連携で共通のポイントカードを 導入し顧客の相互共有を行い客数の拡大を図る。</p>
<p>第2問</p>	<p>食器店を選択 内容は、①イベントの企画に積極的に参加し飲食店やサービス 業と連携し来場者が各店を周るようポイントラリーを行い客数 の拡大を図る事、②物産市のコンセプトである「こだわり」の 商品の販売に力を入れ客単価の向上を図る事。</p>
<p>第3問(設問1)</p>	<p>こだわりを持った食品を取り扱う食品小売店。戦略は、①高価 格志向で高層マンションに転居してきている 30~40 代に、② 高価格でもこだわりの食品を取扱い、③店頭での試食や DM を 行い、④客数の拡大を図る事。</p>
<p>第3問(設問2)</p>	<p>イベントは、市や県等と連携しこだわりの食品の試食会を実施 する事。効果は、①顧客と店主が顔見知りとなり顧客関係性強 化が図れる、②総合スーパーとすみ分けでき商業集積の魅力向 上や空き店舗率の改善が図れる事。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅲ

<p>第1問(設問1)</p>	<p>①機械加工工程と塗装工程の保有により一貫生産体制を確立できた事。 ②鍛造技術に精通した中堅エンジニアがいる営業部の設置で要望を把握できる事。</p>
<p>第1問(設問2)</p>	<p>メリットは、①自動車部品の受注獲得で産業機械部品の売上構成比が上昇し経営リスクの分散が図れる事、②自動車業界の要求に対応が必須となるので納期遅延を解消し製造リードタイムの短縮化を図れる事。</p>
<p>第1問(設問3)</p>	<p>改善策は、機械加工工程の設備稼働率を高める事。具体的には、①刃物の交換等の段取り作業を内段取りから外段取り化し停止率を低減する事、②製品脱着作業の標準化・マニュアル化し作業遅れを防ぎ空転率を低減する事。</p>
<p>第2問</p>	<p>問題点は、農業や産業機械部品の納期遅延が生じている事。改善策は、①生産計画の対象範囲を全工程で行い生産計画の精度の向上を図る事、②ガントチャートやカムアップシステム、ABC 管理を行い生産統制の強化を図る事。</p>
<p>第3問</p>	<p>納期管理は、全工程の情報をネットワーク化し DB を作成し一元管理する事。活用すべき情報は、①受注処理面で図面等仕様書情報、②生産計画面で納期や需要予測情報、③生産統制面で進捗管理や余力管理情報、④在庫管理面で現品管理情報、である。</p>
<p>第4問</p>	<p>強化すべき点は、3K 職場の作業環境を改善し若手人材の育成を図る事。理由は、①顧客からの軽量化や複雑形状化要求が強くなっており、鍛造技術の向上が求められているが、②若手人材が少なく、高齢化が進んでいることから鍛造技術の技術伝承ができておらず、鍛造技術の維持・向上の実施が困難となる為。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅳ

第1問(設問1)①	有形固定資産回転率 5.00 回
第1問(設問1)②	自己資本比率 22.12%
第1問(設問1)③	売上高経常利益率 2.28%
第1問(設問2)	特徴は、①X 社の受注が安定しているので有形固定資産の稼働率が高い事、②借入金が多く安全性が低い事、③X 社への依存度が高く収益性が低い事。
第2問(設問1)	売上高 1,935 売上原価 1,695 売上総利益 240 販売費一般管理費 300 営業損益 △60 経常損益 △71 税引き前損益 △71 法人税等 : 0 当期純利益 △71
第2問(設問2) (a)	売上高 10%の減少で経常利益が赤字となり収益性が低下した事。
第2問(設問2) (b)	原因は、多額の固定費の発生でハイリスクハイリターン型の収益構造となっているため、売上の減少が利益の大幅な減少に繋がった。
第2問(設問3) (1)	(a) 金額 2,241 ①変動費率 = $(1,770 - 1,020 + 320 - 120) \div 2,150 = 0.441786 \dots$ ②必要売上高 = $(1,020 + 120 - 13 + 24 + 100) \div (1 - 0.441786 \dots)$
第2問(設問3) (2)	(a) 金額 1,756 ①削減後固定費 = $1,935 \times (1 - 0.441786 \dots) - 100 = 980$ ②必要売上高 = $980 \div (1 - 0.441786)$
第3問(設問1) ケース1	ケース 1 19 百万円、 24 百万円、 24 百万円
第3問(設問1) ケース2	ケース 2 12 百万円、 17 百万円、 17 百万円

第3問(設問2)	Z 35.14 E 53.45 ○
第3問(設問3)	プロジェクト指標は回収期間法を採用する。 回収期間法=年々CF/投資額
第4問(設問1)	X社依存となり経営が不安定になる。 ※こんなような事を書きました。
第4問(設問2)	新たな収益獲得でX社依存の売上構成比が低減し経営が安定する。